



ろうどうりんり：しゃかいのへいあんのみなもと

しんあいなるムスリムのみなさま！

ぜんのうのしゅはつぎのようにつげておられます。「にをおうものが、たしやのにをおうことはできない。にんげんは、ただじぶんがどりよくしたことだけをえる。」¹

また、わたしたちのよげんしゃﷺは、ハディースをとおしてこうかたっています。「ほんとうに、ぜんのうのアッラーはあなたがたがぜんこうをかんせいさせることをあいておられる。」²

しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

わたしたちのいだいなしゅうきょうであるイスラームがけいじされたもくてきのひとつは、せいかつのあらゆるめんにおいてぜんりょうなどうとくをみちしるべとするしゃかいをきづくことです。ぜんのうのアッラーがげんせとらいせのこうふくのためにすうはいをめいじたのとおなじように、しゅ（スプハーナワタアラー）は、しごとをするうえでどうとくてきにぜんりょうであるようおめいじになりました。

ろうどうりんりとは、わたしたちがしごとをするうえでのせいじつさ、しんらいせい、けいいい、こうせいさといったきほんてきなかちかんをはんえいさせたものです。しごとをきちんとやりとげ、ほかのひとやこうきょうのけんりをそんちようし、じぶんたちのはつげんや、じぶんたちがなにものであるかについてしょうじきであることです。いつでもハラールをめざしてどりよくし、しゅうにゅうのなかにハラームなものがはいりこんだり、ことばのなかにうそがまぎれこんだりするのをゆるさないことです。

しんあいなるムスリムのみなさま！

ろうどうりんりは、こじんのじっせいかつぜんたいにえいきょうをおよぼすびとくです。ぶかであることのりんりきていがあるように、じょうしであることにもりんりきていがあります。じゅうぎょういんであることのりんりきていがあるように、こようぬしであることにもりんりきていがあります。うりてとしてのりんりきていがあるように、かいてとしてのりんりきていがあります。

アッラーのしとﷺはぜんりょうなじんかくをかんせいさせるためにつかわされ、「だれであれ、じぶんのためにもとめるものをどうほうのためにもとめるようになるまでは、しんこうをもったことにはならない」³とかり、こじてきなりえきにとらわれず、たにんのけんりとほうとをじゅんしゅし、しゃかいせいかつにおいてはこうせいでバランスのとれたせいかつをおくるようじょげんしています。わたしたちにかされているのは、あいするよげんしゃﷺのせいじつなこころをみにつけ、しめいかんをもってひとつひとつのしごとをやりとげることです。わたしたちのぎむとは、けんりにたいするよげんしゃのかんせいをみならい、はたらくもののけんりをしんがいないよう、またそのけんこうやあんぜんにちゅういはらうことです。

しんあいなるムスリムのみなさま！

わたしたちにあたえられたすべてのものごとを、しゅ（スプハーナワタアラー）からたくされた、しゅのおよろこびをえるためのきかいとらえるようにしましょう。きちんとしたしごとをし、げんせとらいせのりょうほうをみのりあるせいにしましょう。わたしたちのすべてのおこないにおいて、ハラールのかんかくをまもりましょう。アッラー（スプハーナワタアラー）のおんめにわたしたちをかちあるそんざいとするのは、そうぞうのもくてきにしがってこうどうし、おこないのすべてにイスラームのどうとくをはんえいさせることであるのをわすれないようにしましょう。

¹ Najm, 53/39-40.

² Bayhaqi, Shu'ab al-Iman, 4/334.

³ Tirmidhi, Sifat al-Qiyamah, 59.